

第二期 平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画進捗状況（中間目標）

	1.減量化の目標（g以下）				2.資源化の目標（%以上）				3.最終処分量の削減目標（%以上）			
	設定目標	令和3年度	達成状況		設定目標	令和3年度	達成状況		設定目標	令和3年度	達成状況	
1市2町	847	838	A	101.1%	30.6%	26.5%	B	86.6%	7.7%	10.9%	A	141.6%
平塚市	849	831	A	102.2%	29.5%	25.5%	B	86.4%				
大磯町	869	917	B	94.8%	32.9%	28.5%	B	86.6%				
二宮町	798	821	B	97.2%	39.0%	34.1%	B	87.4%				

達成状況の指標 A：達成 B：99%から80% C：79%から50% D：50%未満

達成状況の補足

令和3年度において、1.減量化の目標が達成している要因を補足する。令和3年度においても続く、コロナ禍の経済活動の停滞により、平塚市の事業系一般廃棄物の発生量がコロナ禍前より大幅に減少している。そのため、発生量及び人口が多い平塚市が2町の実績を牽引し、1市2町における目標も達成した。一時的なものと推測されるため、翌年度以降は状況が変化している可能性がある。

K P I（重要業績評価指標）	基準値 （平成30年度）	中間値 （令和7年度）	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		目標値 （令和12年度）
			実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	
、 家庭系ごみに含まれる可燃ごみの割合	66.66%	61.02%	66.85%	B									57.41%
、 事業系可燃ごみの排出量	21,575 t	20,925 t	19,561 t	A									20,925 t
、 家庭系ごみに含まれる資源ごみの割合	26.61%	32.10%	26.39%	B									35.35%
、 事業系ごみの資源化量	2,244 t	2,500 t	2,105 t	B									2,700 t
年間最終処分量	1,022 t	943 t	911 t	A									924 t
適正な処理規模検討施設数	3施設		—										5施設
適正な施設配置・運営検討施設数	3施設		—										5施設
総排出量	101,252 t	95,457 t	96,932 t	B									90,225 t
総資源化量	26,839 t	29,230 t	25,735 t	B									29,340 t
処理及び維持管理費（百万円）	3,167	3,804以下			←一般廃棄物実態調査結果を反映【令和5年4月以降】								3,804以下
広域化による二酸化炭素排出量（t-CO2）	14,485	14,485以下	—		—		—		—				14,485以下

K P Iの進捗率：A：達成 B：99%から80% C：79%から50% D：50%未満

令和3年度実績 国の実態調査後確定、中間改訂の委託にて実施予定

進捗率の補足 削減目標

進捗率の求め方 実績÷中間値（令和7年度）×100 ただし、削減目標の場合マイナス分は表記せず、100%から余剰分を引いたものが進捗率となる。